

## 「メディア教育研究」(第4巻第2号)の刊行にあたって

「メディア教育研究」は、平成16年4月に独立行政法人に移行したのを機に刊行を始めた学術研究誌として、多様なメディアを高度に利用して行う教育とその研究開発に関する学術研究上の成果を、論文、研究資料、研究開発速報などとして掲載しております。

このたび、「メディア教育研究」(第4巻第2号通巻8号)を刊行いたしました。この号では、「教育実践に役立つシステムの研究開発」を特集テーマとしており、このテーマに関する7件の研究開発速報を掲載することができました。コンピュータやインターネット、携帯などのICT(情報コミュニケーション技術)の高度化、高機能化、低価格化が進み、教育実践に役立つ効果的なシステムが次々と開発されています。また、開発されたシステムが実際の教育実践の場で使われ、教育の質の向上に役立っています。このような状況の中で、この特集号において、これらのシステムの研究開発と評価等の成果を速報として掲載することができました。これらの研究成果が、今後の教育の改善に役立てるために多くの読者にとって参考になることを期待しています。

また、本号には、投稿された原著論文として1件及び研究資料として4件掲載しております。

本号の論文等をご覧いただきわかりますように、この「メディア教育研究」が多様なメディアを高度に利用して行う研究とその研究開発に関する学術研究誌として認められつつあります。これは、この分野の関係者のご関心の高さにご協力、ご支援のお陰と感謝しております。ご寄稿いただいた方々をはじめ関係者に厚くお礼申し上げますとともに、様々な分野でこのような課題に関わる読者の方々に参考となれば幸いです。

本センターとしましては、この「メディア教育研究」の刊行とその充実を図りたいと考えております。様々な研究成果の公表の場として利用していただき、教育・研究者が研究成果を共有することによって、この学術研究誌が我が国の教育改革の一端となることを願っております。今後もより多くの研究者が投稿されると共に、より多くの読者に利用されることを期待しております。

今後ともどうぞよろしくご支援賜ります様お願い申し上げます。

平成20年2月

独立行政法人メディア教育開発センター  
理事長 清水康敬